

目指す姿

商工観光分野の地域ビジョン 一人ひとりが満たされる町

## 戦略策定・地域マネジメント

エリアマネジメント調整会議のもと、地域の有効な合意を得ながら、CRM戦略（“お客様から信頼される存在”）を軸として、地域ビジョンの実現に向けた戦略・取組内容を策定する。

①地域ビジョン実現に向けた戦略・取組内容の策定

②各主体の取組内容の進捗管理

御浜町エリアマネジメント調整会議  
協同事務局②（一社）ツーリズムみはま・御浜町

調整

## 1. 商工観光事業者の事業継続支援

地域の商工観光事業者の経営サポート・支援を行い、地域の商工観光業の魅力を向上させて集客力を高める。

①地域の商工事業者の経営サポート	商工会
②商工会の運営・各種事業への支援	御浜町
③地域CRMツール「KiiCard」の運営	ツーリズムみはま
④地域CRMツールの事業者への普及支援	商工会
⑤地域CRMツールの普及等支援	御浜町
⑥旅行商品の開発	ツーリズムみはま
⑦来訪者・旅行者向け商品開発の支援	御浜町

## 2. 地域マーケティングの実践

地域MCとして各種データを集約し、CRM戦略を軸としつつ、地域プロモーション等の地域マーケティング活動を実行していく。

①地域MCの運営	ツーリズムみはま 地域MC部門
----------	--------------------

## 3. 集客インフラの整備・管理

七里御浜TICや道の駅等の集客インフラの適切な整備・管理を行い、快適で利便性の良い受入環境を整備する。

①集客インフラの適切な整備・管理	御浜町
②七里御浜TICの設置・運営	御浜町



# ローカル10,000プロジェクト（地域経済循環創造事業交付金）について

- 総務省が支援している事業で、産官学金連携により、地域の資源と資金を活用した地域密着型事業の創業・第二創業・新規立ち上げを支援
- **地域資源の活用、地域課題への対応、地域金融機関による融資等、新規性、モデル性の要件を満たしている事業が対象（全ての産業分野にて活用可能）**

## 補助について

- ・ 上限2500万円まで補助
- ・ 対象経費はソフトに加え、施設整備等のハードも対象

## 活用事例

- ・ 養殖魚とお茶を組み合わせた商品開発
- ・ 古民家を活用した飲食事業
- ・ クラフトビールの製造・工場見学

## R8年度のスケジュール（予定）

- |       |                      |
|-------|----------------------|
| R8年秋頃 | <u>R9年度事業 募集開始</u>   |
| R8年冬頃 | 町採択候補決定<br>町から総務省に申請 |
| R9年3月 | 総務省内示                |
| R9年5月 | 申請事業者様 事業着手          |

※総務省の交付決定を受けて正式に採択



他地域事例：養殖魚とお茶を組み合わせた商品開発



他地域事例：古民家を活用した飲食事業

# 取組内容：1-④地域CRMツールの普及等支援

## 方針

町の役割とされている地域MCの下支えとして、KiiCard事業の  
安定的・継続的な支援として以下を実施

- ①国からの財政措置が受けられる「集落支援員（地域おこし協力隊）制度」を活用し、町財政への影響を軽減できるよう工夫
- ②町内加盟店の利用料や手数料の一部を負担

## KPI（再掲）

KiiCard取扱額（町内）

R7年 2.7億円

R8年 前年比100%維持

## R7年 主な取組内容

1. 【人的支援】 地域CRMツール普及支援員（2名以上）の配置
2. 【財政的支援】町加盟店に対して加盟費用の一部を補助

## R8年 主な取組内容

引き続き上記支援を継続

# 取組内容：1-⑥ 来訪者・旅行者向け商品開発の支援

## 方針

1. 御浜町ならでは商品振興会に「来訪者向けコンテンツ開発等支援員（集落支援員）」を配置し、「mihama食とモノ市場」の開催と道の駅周辺イベントの創出・支援、特産品（お土産）開発等を実行し、道の駅周辺への集客につなげる
2. 旅行商品の収益化によって、事業を営む事業体を創出するための取組支援として、ツーリズムみはまに「地域おこし協力隊」を配置し、旅行商品の開発等につなげる

## R7年 主な取組内容

1. 「mihama食とモノ市場」（4回）の開催、共催等による民間イベント（4回）を誘発
2. 【人的支援】地域おこし協力隊を2名配置

## R8年 主な取組内容

1. 引き続き御浜町ならでは商品振興会による「mihama食とモノ市場」や民間イベントの開催（4回程度）支援  
※民間の集客イベント開催支援補助金の創設（補助金上限10万円）
2. 引き続き地域おこし協力隊（1名）を配置  
※宿泊施設に地域資源を活用した体験型の商品等を組み合わせることによって事業の自立を図る。（ツーリズムみはまが担ってきた旅行者向け商品開発の一つの到達点）
3. 「旅ナカふるさと納税」開始に向けた準備を行う（別紙参照）



# 取組内容：1-⑥ 旅ナカふるさと納税について

- 旅行中に観光案内アプリ(CRM\*ツール)から寄付を行い、返礼品として電子クーポンを発行
- 旅行者は**飲食・宿泊・レジャー・お土産**などに利用可能
- 将来的に観光案内アプリで得られる旅行者の行動データや趣味嗜好等を蓄積しコンテンツ開発等に活用

## 事業スキーム

- ・ツーリズムみはまが提供する「巡るKii」アプリを活用
- ・紀宝町と連携し、一部サービスは共通返礼品とすることを検討中

## スケジュール (案)

R8.5月 旅ナカふるさと納税利用店舗 募集・登録  
R8.7-9月 総務省にて審査  
R8.10月 旅ナカふるさと納税 開始



(アプリ画面イメージ)

# 取組内容：3-①、②集客インフラの整備・管理

## 方針

1. 道の駅の基本的な機能（駐車場、24時間トイレ、道路・地域情報の案内）やそのほかの集客インフラの維持・強化を図る
2. 町内唯一の商業集積地である道の駅及び周辺環境の適切な整備を行い、集客の維持・拡大のための取組に対して支援

## KPI（再掲）

- |                                 |     |      |     |      |
|---------------------------------|-----|------|-----|------|
| 1. 町推奨度(NPS)<br>(公社アンケート)       |     |      | R8年 | 調整中  |
| 2. 七里御浜TICの来訪者満足度<br>(Google評価) | R7年 | ★4.5 | R8年 | ★4.6 |

## R7年 主な取組内容

1. 道の駅整備として、玄関前の修繕及び休憩テラスを設置完了
2. TIC利用者の実績や町延べ宿泊者数等について (別添参照)
3. 熊野古道 横垣峠 の遊歩道整備に向けた設計書を作成

## R8年 主な取組内容

1. 引き続き道の駅・TIC来訪者の満足度向上に取り組む
2. 遊歩道の工事を実施 ※R10年度完了予定



道の駅パーク七里御浜

# 町内宿泊者数、TIC利用状況について

- 外国人宿泊者数の大幅増もあり、宿泊者数は前年比123%  
当初想定していた年間宿泊者数（25,000人泊/年）の8割程度達成
- TICを利用する外国人も増加しているものの、全体に占める割合はわずか
- 今後は飲食店への誘導等、地域内消費を促す取組についても検討

